

復興デザインスタジオ

東京計画 2020-2050

社会基盤・建築・都市 三専攻連携大学院スタジオ

初回ガイダンス / レクチャー：2020.4.6.mon 12:45 -

※オンラインで実施（詳細裏面）

COVID-19 によって高密度・高集積型の従前の東京の都市構造は大きく揺らぐなか、2050 年に向けて私たちは、今のような都市像を未来に向けて東京で描けるだろうか。社会基盤・建築・都市の三専攻が連携して開講してきた「復興デザインスタジオ」では、首都直下地震のリスクが高まる中、液状化や高潮、COVID-19 といったさまざまな都市リスクの想定の下、避難やリモート化による都市流動の変化に対応した新たな空間像を事前復興プランとして描くことを試みたい。

担当教員：羽藤 英二・福田 大輔・窪田 亜矢・大月 敏雄・本田 利器・萩原 拓也

特別講師：宮城 俊作・田島 芳満・千葉 学



東京計画 2020-2050

首都直下地震からの復興

4月

6日 12:45- 初回ガイダンス @Zoom (オンライン)
/Keynote レクチャー 宮城 俊作 先生 (都市工・ランドスケープデザイン)
/ 課題説明 ※12:45 までに Zoom のミーティングルームにアクセスのこと

13日 課題① 「COVID-19 後の都市 / 東京」

20日 課題①

27日 課題①発表

/Keynote レクチャー 田島 芳満 先生 (社会基盤・海岸工学)

5月

11日 課題② 「過去の災害復興レビュー」

18日 課題②

25日 課題②発表

6月

1日 課題③ 「東京計画 2020-2050_ 首都直下地震からの復興」

8日 課題③

15日 課題③ 千葉 学 先生 (建築・建築意匠) による特別レク・エスキース

22日 課題③

7月

29日 課題③

6日 学内最終発表

募集定員：24 名程度

初回ガイダンス参加方法：

①UTAS のリンクからアクセス

②4月5日(日)までに、下記 Google フォームに登録し、Zoom への URL を取得 (教員からメール送付)

<https://forms.gle/4YGyVRRGbWQ3F7od6>

注意事項：

- ・接続環境の確保が困難な場合、その他質問がある場合は、hagiwara[at]bin.t.u-tokyo.ac.jp[萩原] まで
- ・上記のスケジュール (グループワーク・指導等) は原則として、Zoom 等のオンライン形式で実施
- ・スケジュールや課題は、COVID-19 に係る状況によって変更の可能性がある
- ・優秀1チームは、「レジリエンス研究と復興デザイン教育」に関するフォーラムに出展し、英語にて発表予定 (2021年3月頃@仙台の予定)